

## 共栄ダイカスト株式会社

# 鑄造・金型製作から 完成品までフルサポート

- 納期 期
- 企画 力
- 自信 有
- コスト 相
- オンライン 接
- 見積 術
- メイド ン
- イン ジャ
- 試作 可
- 小口 小
- 産 産
- 対 対



ダイカスト鑄造風景

### 業務内容 ダイカスト鑄造と 金型製作の両輪で展開

自動車部品、カメラ等の弱電部品の建築金物、アパレル資材、鞆金具等に使用されるアルミ・亜鉛製品から、トロフィーやキーホルダー、ノベルティグッズの生産と多岐にわたる鑄造製品を世に送り出している共栄ダイカスト。ダイカスト鑄造のみならず、さまざまな加工を含めた完成品の製作まで請け負うこともある。

金型部門では自社で使うダイカスト鑄造金型や治具を始め、他社のオーダーに応じて図面作成からプラスチック成形金型、量産加工用治具や検査治具の設計製作も行っている。



鑄造中の金型部分

### 強み あえてジャンルを限らない 提案型工場

同社が工場を構えている東大阪は、全国的に知られる製造業の集積地。同業他社の大半が金型のみ、鑄造のみを請け負っているのに対し、同社は企画立案から図面作成、金型作成、製造、パッケージングと、トータルなサポートができる提案型工場として差別化を図っている。

また、ジャンルを特化していない点も同社の大きな強みだ。「例えば、自動車部品とアパレル用品のどちらにも

対応できる工業製品メーカーは多くないでしょう。業種ごとの重点ポイントや管理部分を把握しているので、対応の幅が他社とはまったく違います」と金崎社長。自身が作成したホームページにある「ものづくりのことは何でも相談してください」の文言が光っている。

### 新たな展開 直接、消費者に届ける 鑄造品を考案中

企画からパッケージングまで自社でまかなえる強みを活かし、現在、一般消費者に直接、販売できるオリジナル商品を考案中だ。狙い目は、ペットやホビー系といった、価格より好みを重視して購入されるジャンルの商品だ。お得意先のメーカーではなく、消費者がどんなものを好むのかを考えながら試作に励んでいるという。

「鑄造製品は、何万点と納品してもつくり手が最終的な形を目にする機会が少ないもの。商品としてそのまま店頭と並ぶなら、ものづくりの達成感もきつと違うはず。社員の意識も変わると思いますが、チャレンジ精神旺盛な金崎社長の指揮のもと、新しい展開が始まろうとしている。

### 今後の展望 生産力の拡充を求め 海外進出も視野に

リーマンショックと東日本大震災の余波から、同社も海外の提携工場に製造部分を委託するようになったが、将来的には自前の現地工場も必要になると予測している。生産力の拡充を求めている同社の視線は、海外へも向けられている。

## COMPANY PROFILE

## 共栄ダイカスト株式会社

ISO 9001



昭和45年に父が創業し、工場を4回移転しながら徐々に規模を広げてきました。昔はKKD（勤と経験と度胸）がすべてといわれたこの仕事も、今はそれだけではダメ。職人気質だけで電子機器や電子部品は扱えないので、この10年あまりでやり方も変わってきました。お客様の要望に対して常に深く考え、答えを出すよう社員にも徹底していきたいと思えます。

トータルなものづくり力を活かした自社製品の製造販売に力を入れていきたい。

代表取締役 金崎 竜三さん



■主な事業内容  
ダイカスト製品の企画・製造・販売、金型の設計・製作、加工治具・検査治具の設計・製作等

■主な取引先（納入先）  
建築金物メーカー、自動車メーカー、家電メーカー、アパレル等

住所 / 〒577-0835  
東大阪市柏田西  
3-9-10  
TEL / 06-6729-5555  
FAX / 06-6729-3355  
創業 / 昭和44年4月  
設立 / 平成12年7月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 30名

<http://www.kyoeidc.com>



各種工業用ゴムパッキン

高石工業株式会社

# 安心・安全・独創的な 工業用精密ゴムを提供

オンライン見積  
メールで仕様  
試作可  
小ロット  
産地直対

## 業務内容

量産品製造と試作品製作  
研究開発の3本柱

工業用精密ゴム部品の製造・研究開発を手掛ける高石工業。水道・ガス・エアポンプ用の最重要ゴムパッキン・Oリングを得意としており、創業以来60年にわたり、ゴムパッキンの知識と経験を活かした高付加価値、高性能製品を提供してきた。

## 強み

70種以上の自社配合材料で  
あらゆる製品を創造

金型技術、つくり込み管理体制、ゴム材料が同社の強み。中でも最も力を注ぐのはゴム材料の配合だ。独自の特殊配合はすべて社内設計されており、ガスや水を封じ込めるパッキンだけでなく、耐塩素、長時間使用に耐えるもの等、70種類に及ぶレシピを保有。顧客の求める性能、使用方法、コストに応じて、あらゆる配合のゴム製品を提供する。

試作品は1個から依頼を受けており、量産化を見据えた試作にも対応。豊富な経験と高い技術力を活かしたもののづくりと、キュラストメーター・引張試験機・画像処理装置等、整った設備を駆使した迅速で細やかな対応が、

## 研究開発

チャレンジ精神で  
顧客の悩みを解決



測定機器、試験機器も充実している

顧客に喜ばれている。

同社は研究開発にも注力。新規ゴム材料の開発支援として、「配合を細かく変えて最適な製品をつくりたい」「今までにない配合のゴム製品を」といった顧客の要望に応え続けている。

例えば、水素エネルギーシステムの基礎研究である、高圧水素シール用のゴムパッキンの開発に必要な試験用試料を作成。水素という非常に小さな分子を閉じ込めるため、これまでにない細やかな要望に応えた。積み重ねたノウハウや経験、知識をフル活用し、希望の試料が完成。顧客からも高い評価を得た。

## 社員教育

ものづくりは  
人づくり

「ゴム製品の製造には、機械も使いますが、人の手も必要です。製品づくりは人の力が大事。人づくりが大切なんです」と高石社長。高い技術力を有すると共に、自分の成長が会社の成長につながるの気持ちと共有できる人材を育てるべく、きめ細かな教育制度を構築。日本国内、特に大阪の地の利を活かした「開発型ものづくり会社」を担う人材を育成している。

## COMPANY PROFILE

高石工業株式会社

ISO 9001



60年前に祖父が起した企業です。皮革パッキン製造から始まり、昭和28年にはゴムパッキンの生産へと移行しました。ガスや水道に使うパッキンをつくっていますので、何よりも信用が第一。50年以上にもわたってお取引を重ねる中で、1度も大きな事故を起こしたことがないと、皆様から信頼をいただいています。親身で丁寧なものづくりで、今後もお客様の期待に応えていきます。

「小さなことにしつこく真剣」をモットーに、  
開発型のものづくりをしています。

代表取締役 高石 秀之さん



### ■主な事業内容

各種精密ゴムパッキン、合成ゴム精密成形品、ゴム金属焼付品等、流体シール全般等

### ■主な取引先(納入先)

水回り製品メーカー、空圧機器メーカー、油圧機器メーカー、ガス器具メーカー等

住所 / 〒567-0897  
茨木市市原町3-18  
TEL / 072-632-3365  
FAX / 072-635-1287  
創業 / 昭和22年5月  
設立 / 昭和23年4月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 40名(大阪工場)

<http://www.takaishi-ind.co.jp/>